

平成 28 年度医療技術等国際展開推進事業での派遣

耳鼻咽喉科 講師 田中 秀峰

派遣時期：平成 28 年 7 月 31 日～ 8 月 6 日

2016 年 7 月 31 日～8 月 6 日までの 1 週間、私と当院脳神経外科の阿久津博義先生とでベトナムのホーチミン市にあるチョーライ病院を訪問し、主に経鼻内視鏡頭蓋底手術における耳鼻咽喉科と脳神経外科との協力体制について、当院で行っている方法を紹介し、手術指導を行ってきました。ベトナムでは科を越えた協力体制は、今のところほとんど行われておらず、その壁を乗り越えるのは容易ではないとのことでした。しかしこの分野では、科を越えた協力体制が世界的な流れでもあり、いずれ必要になってくるので、現地でも耳鼻咽喉科や脳神経外科の先生方が手術の際には何人も見学に来ていました。

この病院はベトナム南部の中核病院であり、最終的な紹介先として位置づけられており、症例は皆激しい症例でした。しかし、手術器具が不十分だったり、十分な情報が無いまま購入した使いにくい手術機器だったりして、テクノロジーに守られた手術は困難な状況でした。しかし、目の前にある手術器具をうまく使いこなす何とかやらなければいけない、という貴重な経験をすることもできました。私が入局した 15 年以上前の鼻の内視鏡手術のイメージでした。

この度初めて耳鼻咽喉科医としてベトナムのチョーライ病院へ行かせていただき、ベトナムの状況把握ができました。経鼻内視鏡手術の分野は、鼻副鼻腔や頭蓋底疾患において適応拡大が進んでいます。今後も機会があれば、当院で行っているノウハウや新しい手術機器、器具を使った手術方法の紹介を行えたらよいと思います。我々にとっても、日本ではなかなか経験できないような症例が多くあるので、当科もこのような機会を引き続き生かしていきたいと思います。



経鼻内視鏡手術についての講演



当院の耳鼻咽喉科・脳神経外科のチームと現地耳鼻咽喉科の先生方と手術室で



現地の耳鼻咽喉科・脳神経外科の先生方と手術室で